

2019年（令和元年）度学校評価まとめ

藤沢市立高倉中学校 校長 長田 光子

今年度も学校評価のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。アンケートの集計結果とそれにもとづく分析と自己評価をご報告致します。

学校評価は、学校運営に関して生徒・保護者の皆様から評価をいただき、次の年度の計画に活かしながら、学校目標の達成を目指すためのものです。お寄せいただきました回答は、自由記述につきましても全職員で目を通し、職員会議等で分析・検討致しました。また、学校評議員・PTA代表・教職員代表から組織される「学校関係者評価委員会」を開催し、次年度に向けての取り組みについて話し合いました。

今後も「自らを律し、共に生きる人になる」という教育目標のもと、学校づくりに努力して参りますので、ご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

2019年度学校評価アンケート 生徒 前年度との比較

	全学年生徒						※
	よくあてはまる		だいたい当てはまる		当てはまる計		
	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	
1 授業はだいたいわかりやすく楽しい	28	24	54	58	83	82	—
2 先生の多くは教え方に色々な工夫をしている	43	39	47	47	90	86	—
3 授業では自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。(グループ活動を含む)	67	64	27	30	94	94	—
4 授業でわからないことについて先生の多くは個別に質問や相談に応じてくれる	58	49	32	38	90	88	—
5 先生の多くは自分の学習について正しく評価してくれている	45	43	42	40	87	83	—
6 学校へ行くのは楽しい	46	40	35	36	80	76	—
7 友達や先生との人間関係はだいたいうまくいってる	51	45	36	40	87	85	—
8 学級や部活動などでは互いに思ったり考えたりしたことを言い合える	44	40	37	42	81	82	—
9 自分は体育祭や合唱コンなどの行事に一生懸命取り組んでいる	64	70	26	24	90	94	—
10 自分は生徒会や委員会、係などの活動に一生懸命取り組んでいる	58	64	30	27	88	90	—
11 (部活動に入っている人のみ回答)自分は部活動に一生懸命取り組んでいる(3年生は取り組んでいた)	67	68	19	17	87	85	—
12 先生の多くは自分の悩みごとや相談ごとを聞いて理解しようとしてくれている	43	39	38	43	81	82	—
13 先生方はいじめや暴力、まちがった行動などで自分たちが困っていることについてきちんと対応してくれる	47	48	35	34	83	82	—
14 学校では命や人権、社会のルールなど生きていく上で大切なことについて学んだり考えたりする機会がある	57	49	34	38	91	88	—
15 学校では将来の生き方や進路について学んだり考えたりする機会がある	54	42	37	43	91	86	—
16 学校では、環境問題について学んだり考えたりする機会がある	35	24	41	45	76	68	↓
17 学校では平和や国際理解について学んだり考えたりする機会がある	49	43	40	41	88	84	—
18 学校では福祉について学んだり考えたりする機会がある	25	33	45	38	70	71	—
19 学校では健康や安全、事故防止、防災など自分の命や健康を守ることに学んだり考えたりする機会がある	53	47	35	38	87	86	—
20 自分は学校の環境整備や清掃美化に努めている	39	40	41	39	80	79	—
21 学校では生徒の人権やプライバシーが守られている	47	40	38	41	85	81	—
22 先生方はお互いに協力し合っている	52	51	38	35	90	86	—
23 保護者や地域の人々と一緒に学んだり活動したりする機会がある	34	15	37	41	71	56	↓↓

※—は5%以内の変化、↑は上昇、↓は下降、矢印二つは10%以上の変化

3月6日 学校関係者評価委員会のご意見の中から

- ・いつも授業参観をおねがいしているところですが、この度は臨時休校となり、実施できませんでした。しかし、様々な場面で生徒の様子を年間通して観察していただき、学校を訪れたときの様子から、生徒の素直さ、笑顔で明るく挨拶を自然にする姿を評価していただいています。
- ・自分の子どもが在籍していた頃から引き続き、「学びの共同体」が継続されているのはとても素晴らしい。さらに、内容を深めて新しい指導要領に対応できるように先生方と共に頑張ってもらいたいということです。
- ・ずっと続いている「挨拶運動」の意義をもう一度原点に戻って確認しても良い。PTAの運営も含めて町の在り方につながっていることが理解されて学校は地域を、地域は学校を大事に思っているというご意見でした。
- ・学校を訪れたときに生徒はほとんど落ち着いて学習に部活動に向かっているが、各学年の課題は何かとの問いに一年生の主任からは感情のコントロールが難しく課題を抱えた生徒の対応で指導場面はあるが、粘り強く 関わることで本人も集団としても成長していると感じている。今後も生徒理解を基本とし、丁寧な指導を継続し、保護者との連携を密にしていくことをお伝えした。

2019年度学校評価アンケート 保護者 前年度との比較

	全学年						※
	よくあてはまる		だいたい当てはまる		当てはまる計		
	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	
1 学校は教育目標や教育方針をわかりやすく伝えている	17	17	69	65	86	81	↓
2 学校は保護者の声を聞いてその願いに応ようとしている	20	14	59	63	80	77	—
3 学校は家庭への連絡や意思疎通を適切に行っている	32	23	53	60	85	83	—
4 学校の様子を懇談会や通信等(学級・学年・学校便り・HPなど)によって知ることができる	36	35	51	55	87	90	—
5 子どもはおおむね授業が楽しくわかりやすいと言っている	11	7	50	53	62	60	—
6 多くの先生は子供の学習を適切に評価し、指導に生かしている	13	11	61	64	74	74	—
7 学校は教科相談やフォロー学習などを通して個に応じた指導に努めている	17	14	53	58	70	72	—
8 子どもはおおむね楽しそうに学校へ通っている	38	35	49	52	87	87	—
9 子どもは学校での友人や先生との人間関係について不満を漏らすことはあまりない	20	17	42	44	62	61	—
10 子どもは体育祭や合唱コンクール、宿泊行事など学校行事に積極的に取り組んでいる	59	53	32	40	91	93	—
11 子どもは生徒会、委員会、係活動に積極的に取り組んでいる	43	40	38	41	80	82	—
12 (部活動に参加している人のみ回答)子どもは部活動に積極的に取り組んでいる(3年生は取り組んでいた)	64	64	22	23	86	87	—
13 多くの先生は子どもを理解しようと努めている	19	18	62	63	81	81	—
14 学校は子どもの悩みや問題の相談に応じ適切に指導している	16	15	60	58	76	74	—
15 学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	19	17	63	64	81	82	—
16 学校は子どものまちがった行動や生活について適切に指導している	22	20	59	62	81	82	—
17 学校は子どもに命の大切さや社会のルールを守る態度を育てるために適切に指導している	22	20	61	62	83	82	—
18 学校は個々のニーズに応じた指導や支援に努めている	16	12	53	54	69	66	—
19 学校は子どもに対し将来の進路や生き方について適切な指導を行っている	19	16	56	58	75	74	—
20 学校は家庭に対し進路に関して学年に応じた適切な情報提供を行っている	23	21	51	57	74	78	—
21 学校は子どもの健康や安全、事故防止に努めている	27	27	61	59	88	86	—
22 学校は環境整備や美化清掃に努めている	30	27	57	62	87	89	—
23 学校は生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている	19	17	58	64	77	81	—
24 学校では子どもや家庭に関するプライバシーが守られている	27	24	59	63	86	87	—
25 学校は先生が情報を共有し一体となって指導に当たっている	17	14	56	62	73	75	—
26 学校からの文書、電話、教職員の対応やあいさつは適切である	35	35	54	51	89	86	—
27 学校は地域との連携に取り組んでいる	25	21	59	62	84	82	—
28 本校のPTA活動は適切に行われている	28	18	57	61	86	80	↓

※—は5%以内の変化、↑は上昇、↓は下降、矢印二つは10%以上の変化

2019年度学校評価アンケート 教職員Ⅰ 前年度との比較

		教職員						※
		よくあてはまる		だいたい当てはまる		当てはまる計		
		昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	
1	報告・連絡・相談、事故防止の徹底と早期対応によりスムーズな教育活動を実施している	26	25	61	64	87	89	→
2	各自が学校経営の意識を持ち、知恵を出し合い、協力しあう学校文化を創造している	16	11	68	82	84	93	↑
3	機会をとらえて研修と修養に努め、学び続けている	26	36	61	57	87	93	↑
4	学習の意味やねらいを明確にしたり、振り返りを行ったりして学ぶ意欲を喚起している	26	46	65	46	90	93	→
5	教科相談やフォローアップ学習等、個に応じた指導を行っている	23	39	58	50	81	89	↑
6	知識・技能を活用し、課題を解決するために「思考・判断・表現」の場を設定している	19	25	68	61	87	86	→
7	「楽しく分かりやすい授業」のために「学び合い」や「UD」を取り入れるなどの工夫をしている	42	57	48	36	90	93	→
8	評価が学習の動機付けになるよう評価場面や方法を工夫している	16	25	68	64	84	89	↑
9	「評価すること、したことを明らかにし、精度を高め信頼される評価にしている	32	21	55	64	87	86	→
10	教科の枠を超えて相互に授業を見合い、互いの実践力を高めている	29	21	45	54	74	75	→
11	教科会や研究会、授業に関する話し合いや打合せなどは充実している	16	29	48	39	65	68	→
12	生徒と教師や来校者、生徒相互のあいさつの指導を徹底している	42	43	55	50	97	93	→
13	「聴く」努力、「聴かせる」努力を自ら実践し生徒へも指導している	32	29	61	61	94	89	↓
14	生徒理解に努め、適時適切な「声かけ」を行っている。	26	32	68	57	94	89	↓
15	教師も生徒も特別支援学級との交流を深め、共に学び育つ教育活動を実践している	23	7	39	57	61	64	→
16	何事にも一生懸命努力する生徒を育てている	42	36	52	50	94	86	↓
17	生徒の自主活動を促進し、感動体験の場作りに工夫している	19	25	55	61	74	86	↑↑
18	10分間読書や図書館教育を推進している	39	39	55	54	94	93	→
19	自分で判断し行動でき、自分に責任を持てる生徒を育てている	13	21	74	71	87	93	↑
20	集団のルールを理解させ、それを互いに守ろうとする生徒を育てている	29	36	65	54	94	89	↓
21	全体で情報を共有し、共通理解を図りながらチームで生徒指導・支援にあたっている	42	21	39	61	81	82	→
22	学校全体の教育活動は充実している	32	21	55	68	87	89	→

2019年度学校評価アンケート 教職員Ⅱ 前年度との比較

		教職員						※
		よくあてはまる		だいたい当てはまる		当てはまる計		
		昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	
1	望ましい勤労観や職業観を持ち、将来の生き方を考えられるキャリア教育を行っている	20	21	73	64	93	86	↓
2	道徳の時間を要とし、教育活動全体を通して道徳活動を行っている	27	36	47	57	73	93	↑↑
3	自らが人権尊重の意識を持つと同時に生徒にも人権教育を行っている	27	29	57	54	83	82	→
4	体験活動を重視し、課題解決能力を育てる総合的な学習を行っている	33	11	40	71	73	82	↑↑
5	学校全体として部活動を活性化させている。	37	21	57	68	93	89	→
6	教育目標や方針、課題、計画などを教職員間で共有している	7	7	63	71	70	79	↑↑
7	生徒や保護者の声を聞いてその願いに応えている	20	18	73	71	93	89	→
8	家庭への連絡や意思疎通を適切に行っている	37	32	57	57	93	89	→
9	自らの教育観や学校や生徒の様子、必要な情報などを保護者に適切に知らせている	17	29	67	61	83	89	↑
10	校長は教育に対する自らの考えを明らかにし、リーダーシップを発揮している	47	21	50	68	97	89	↓
11	学校運営に教職員の意見が反映されている	7	7	67	50	73	57	↓↓
12	適材適所の校務分掌がなされ、意欲的に取り組んでいる	7	4	67	71	73	75	→
13	各分掌や学年間の連携が円滑に行われ、組織として機能している	13	11	40	68	53	79	↑↑
14	職員会議等の会議や有効に機能している	13	11	63	50	77	61	↓↓
15	教職員の問題意識や悩みなど相談し合える職場の人間関係ができています	27	18	57	64	83	82	→
16	施設・設備、清掃、環境美化、掲示物、植物など安全で快適な環境が作られている	33	18	60	68	93	86	↓
17	PTAや地域の活動に参加し、地域・保護者の人々と交流している	37	21	43	50	80	71	↓

※→は5%未満の変化、↑は上昇、↓は下降、矢印二つは10%以上の変化とする

2019年(令和元年)度学校評価自己評価のまとめ

学校評価アンケートの分析及び来年度への方向性

○については、数値が上がったもの ●については、下がったもの

【生徒アンケート】

●16、23については、問いに対して一年間の活動の中でどれが「環境問題」や「地域の人々との学び」なのかを捉えられていない可能性があると思われる。「環境問題」は、社会科だけでなく、理科、総合学習、生徒会や専門委員会活動なども、それにあたる事が伝わるように指導を進めていきたい。また、地域の人々との学びは、職業体験や長後まつり、地域のおまつりへの参加も含めて大変お世話になっているが、当てはまる活動を伝える指導を進めていく。
○の事項はないが、ほぼ横ばいの状況で80%を超えているものが多い。さらに成果を上げられるように教育活動にあたっていく。

【保護者アンケート】

●1の目標については、不意に生徒に質問しても答えられるくらいに浸透しているが、保護者の皆様には学校便りなどで、更なるアピールをしていきたいと考えている。
●28については、今年度PTAの運営委員会で大きな変更をたくさん行ったため、戸惑いも多いかも知れないが、保護者の皆様に大きな負担にならないように誰もが参加できるPTAを目指して改革中である。更なるご理解とご協力をいただきながら、生徒のためにできることを教職員と保護者で考えていきたい。
○の事項はないが、ほぼ横ばいの状況で80%を超えているものが半分以上ある。%の低いものは課題と受け止め伝える方法を考えていきたい。

【教職員アンケート】

今年度教職員のメンバーは、20～30代が半分以上を占め、40代はほぼなし。50代が管理職も含めて一桁しか居ない中で教育活動を行ってきた。指導の未熟さからご迷惑をお掛けした場面等あったが、必死に力を付けようと努力している現状です。研修を積み一人ひとりの力量を高め、中堅を担う人材をさらに育成していく努力をしていきます。保護者や地域の皆様にも見守っていただき、育てていただければ幸いです。生徒や保護者の評価とは逆に、○●がたくさん現れている。まだまだ担任として初めて経験することばかりの教員から、運営を任されて戸惑ながらもリーダーシップを発揮し、努力している姿が映し出されていると感じている。

来年度に向けて

1. 学校評価、並びに教職員の分掌反省から、来年度の教育課程に改善を盛り込み活かせます。具体的には、新学年に年間計画をお伝えする場面で2021年度に向けての新たな取り組みについてもお伝えします。
2. 学校便り、学年通信等を通して「自らを律し、共に生きる人になる」という学校目標を達成できるように、保護者や地域の皆さんへのご理解、ご協力を仰ぎ、更なる学校作りに活かしたいと考えています。
3. 各教科更なる授業改善に臨み、3年間を通して自分の生き方を考える機会として学んでいることが分かるように人権・環境・平和・福祉・国際理解の学習も含めて教育課程を進めていきます。また、本校の校内研究の根幹にある「学びの共同体」の理解を教職員だけでなく、生徒、保護者、地域の方々にも伝え、協力を仰ぎます。
4. 顔の見える関係、人となり伝わる関係を大切にしていきたいと思えます。どんな場面でも話し合いが原則です。義務教育の仕上げの三年間をどのように育てていくか、保護者の願いはもちろん、教職員の願い、地域の思いも受け止め、大人にできることを協力して行い、一人ひとりの生徒と教職員がチームとして努力して参ります。
5. 「自由記述」には忌憚ないご意見をいただきました。ありがとうございます。いただいた意見は、多岐に渡っているため、施設や環境に関する事、生徒指導・支援に関すること、教職員に関する事に分け、各分掌で必要な手立てを行い、学校便りや集会の折りに伝え、少しずつでも改善に活かしていくことをお約束致します。
6. 学校評価の機会だけでなく、年間を通してたくさんの保護者の皆さんからの気づきに支えられた1年間でした。今後とも、学校運営にご協力いただくと共に、気になることや気づいた点はお伝えいただければ幸いです。

※アンケートへのご協力ありがとうございました。ご不明な点ございましたら、教頭宛お知らせください。